

七ヶ浜町民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 6 月 21 日掲載)

(1) 七ヶ浜町の被災状況について

七ヶ浜町は、三方を海に囲まれ、中央が丘陵で海岸に向かって放射状に開いた半島状の地形です。豊かな自然環境のもと、遠い昔から海からの恵みを受けながら、幾多の困難をも乗り越え発展してきました。

震災の日、震度 5 強の激しい揺れの後、震度 4 程度の強い余震が続き、その後には大津波が襲来しました。津波浸水高は 12m を超え、大勢の尊い人命が失われました。住宅を含む建物の流失、損壊なども多数に上りました。

町の面積の 31.7% が津波により甚大な被害を受け、110 名が亡くなり、住宅全壊 673 棟、大規模半壊 234 棟、半壊 411 棟、一部損壊 2,577 棟の被害となりました。町内には仮設住宅が 7 か所設置され、近隣の市町のみなし仮設住宅にも 30 世帯が入居しています。閉じこもりがちであったり、鬱状態であったりする住民を、社協の生活支援相談員と共に戸別訪問を行ない、相談相手として生活の支援を行なっています。

(2) これまでの活動と現状について

七ヶ浜町民児協は幸いにも委員の人的被害はありませんでしたが、委員の多くが津波等の被害を受けました。多くの委員は、津波警報の直後からひとり暮らし高齢者の住居に飛んで行き、避難所へ連れて行きました。児童公園で遊んでいた子どもたちにも避難の声かけをしました。「知らない人についてはいけない」と騒がれても無理に車で避難させ、その直後に大津波が襲来するという間一髪の状態もありました。指定の避難場所の数か所は浸水し、多くの人々が更に避難しなければならないという状況もありました。

九死に一生を得た人々のなんと多いことか。いたるところに風光明媚な場所があった町が無残な光景となってしまいました。

大半の児童公園も流失してしまいましたが、現在、私たち委員が児童館や公園等を巡回し、遊具の点検等を行なった結果を行政等に報告しています。震災後、児童公園はいち早く整備、復旧されました。

(3) 終わりに

全国からの励ましや多くの支援に、人の心の優しさに感動いたしました。国内のみならず世界中の人々に衷心より感謝申し上げます。

町の人口の倍以上の人数のボランティアの皆様の献身的な活動にも感激いたしました。ありがとうございました。